

## 1月定例記者会見 市長原稿要旨

はじめに、『高校生政策アイデアコンテスト』に関する情報提供です。

本市では、次期最上位計画の策定を見据え、高校生という若い世代の皆さんから、龍ヶ崎市のよりよい未来に向けた提案・提言をいただく「高校生政策アイデアコンテスト」の二次審査(プレゼン大会)を令和4年2月20日(日曜日)にサプラスクエア サプラ1階フェスタコートで開催します。

このコンテストは、2人から5人までのチームを組んだ市内在住・在学の高校生から、龍ヶ崎市の「みらいを創る」ための政策を募集し、書類審査を通過した最大5チームにその政策を発表していただきます。

コンテスト開催のねらいは2つあります。

1つは、次期最上位計画の策定に向けて具体的な政策目標や重点施策を定めていく過程で、若い世代の声やアイデアを今後の市政に活かしていきたいということ。

もう1つは、未来の龍ヶ崎市を担う世代に、このまちの未来を真剣に考えてもらう機会を作り、本市への愛着や関心の向上を図っていきたいというものです。

コンテストを通じて、高校生から出される新鮮かつ斬新なアイデアは、必ず本市にとってプラスになるものと考えております。ぜひ取材方よろしく願いいたします。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、開催規模の縮小や、オンラインによる開催となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

次に、『“自治体広報日本一”から学ぶ情報発信研修開催』の情報提供です。

本市では、「伝えたい相手に伝わる情報発信」を目指し、市職員の情報発信に関する能力向上のため、情報発信研修を2月1日(火曜日)にオンラインで開催します。

研修の講師は、<sup>ピーアールデザイン ジャパン</sup>PRDESIGN JAPAN株式会社 代表取締役の<sup>さくま ともゆき</sup>佐久間 智之

さんです。佐久間さんは<sup>みよしまち</sup>埼玉県三芳町の元職員で、広報を担当されていた当時、自治体広報の日本一にあたる、全国広報コンクール内閣総理大臣賞を受賞しています。現在は、多数の自治体で広報アドバイザーなどを務めるほか、自治体等で研修・講演を行うなど、自治体広報の第一線で活躍されています。

今回の研修では、自治体広報の課題や改善策、公務員に必要なデザインスキルなど、すぐに活用できる具体例を学びます。

本市では、広報紙やホームページをはじめ、SNS やメール配信などさまざまな媒体を活用しておりますが、この研修を通じて、職員一人ひとりの情報発信に関する意識や能力が向上することで、市民の皆さまに「伝わる」情報発信につなげていきたいと思っております。

次に、『新型コロナワクチンの追加接種に係る集団接種・個別接種の開始』に関する情報提供です。

本市では、12 月から医療従事者や高齢者施設等の入所者などに対する新型コロナワクチンの追加接種を開始しておりますが、医療従事者などを除く、いわゆる一般市民の追加接種について、集団接種を2月13日(日曜日)から、市内の協力医療機関における個別接種を2月14日(月曜日)から開始いたします。

予約及び接種に必要なワクチン接種券は、65 歳以上の高齢者など2 回目の接種をした日が早い方から1月17日以降、順次発送しております。

追加接種の対象となる方は、2 回目の接種日から原則8 か月以上経過した方となりますが、現在、オミクロン株の感染が早いスピードで広がっており、追加接種の早期完了を目指すため、国の対応方針に基づき、できる限り前倒しで追加接種を実施できるよう取り組んでまいります。

本市では今後も、国及び県の方針に基づき、龍ヶ崎市医師会の先生方をはじめ関係機関の皆さまのご協力をいただきながら、速やかに希望する方が追加接種を受けられるよう進めてまいります。